



早慶戦観戦記

11月23日(祝)国立競技場での第100回早慶戦を、ワセダラグビーを愛する会の皆さんとそのご家族とで観戦・応援してきました。大上さん、木村さん夫妻、木村さんの息子夫妻、長谷川さん、森山さん夫妻、森山さんの息子、山尾さんと伊藤の11人です。

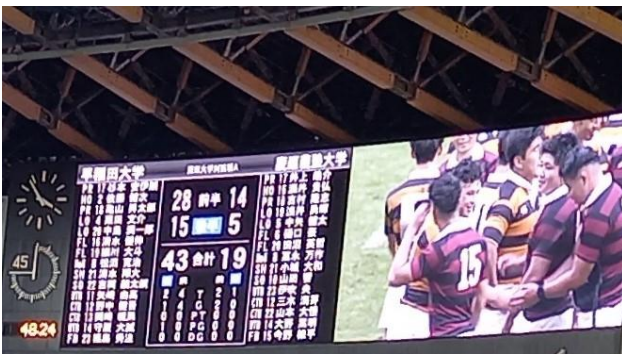
早稲田ラグビー部の創立は1918(大正7)年、初の早慶戦は1922年です。昨年までの対戦成績は、早稲田72勝、慶応20勝、引分け7試合、これを知ると今日も勝てそうな気がしましたが、いえいえ慶応も侮れません。

入口で、無料の早稲田スポーツ・慶応スポーツを受け取り、久しぶりに慶応の塾歌を聞き、早稲田の校歌を歌う(1番だけでなく3番まで歌いたい)と、だんだん気分が乗ってきました。



いよいよキックオフ。立て続けに、トライとゴールで21対0に、大画面の「TRY」の文字が心地よく、今日は楽勝かと思いきや、あっという間に21対14に、油断大敵。これは、接戦になるかと思ったところで、少し流れが早稲田にもどり前半戦が終了。

野球と違って、ハーフタイムがあるので、一息つけるのがいいですね。隣の席の若いアベックは、男性がラグビー経験者のようで、女性に易しく楽しくルールなどを教えているのが、微笑ましく感じられました。



さあ、後半戦開始。

前半戦ほど点は入らないものの、安心して見ていられる試合展開で、勝利を確信しました。

気が付くと、もう勝敗は決しているからか、頻繁な選手の交代。そうですね、リザーブメンバーから、たとえ1分でも早慶戦に出場できたということが、一生の誇り、宝になりますよね。

ノーサイド、早稲田43対19で勝利。やっぱり勝つとうれしいですね！！

8月に早稲田大学ラグビー蹴球部チケット受付係から申込み依頼のメールが来て、9月に申込み、10月にチケットが届き、試合当日、待合せ場所でチケットをお渡しできるかドキドキしていたのを、とうに忘れていました。

次は、12月3日(日)の早明戦、強い明治に勝ったら、うれしいですね。

(伊藤裕康記)